

# 加齢性難聴に補聴器購入に補助を

## 議案質疑・一般質問 16日から20日

6月定例市議会は16日から本会議の議案質疑と一般質問が始まりました。一般質問は15議員が質問通告をしています。小菅康子市議は14番目で20日の予定です。

### 16日本会議 農業委員選任同意、体育館改修工事可決

農業委員の任期満了に伴い、市長から新たな26名の提案がされていましたが、全議員の賛成で同意されました。任期は令和5年7月20日から令和8年7月19日までです。

小菅市議は議案質疑で、農業委員会が野洲市農業と農地をまもる機関として、野洲農業の未来を担う若手(今回提案では60歳未満は1名)や、女性(現在5名が今回は3名)の登用などについて、これを審議する「野洲市農業委員候補評価委員会」の審議状況などを質問しました。

16日の本会議では、総合体育館の大規模改修工事契約の変更(1290万円追加)が可決されました。

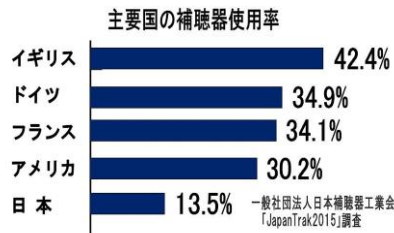
### 一般質問 教員の働き方改革と学校給食無償化

小菅市議は、「過労死ライン」を超える小中学校教員の残業など働き方改善、学校給食の無償化を質問します。質問は20日の予定です。

70歳以上の高齢者の半数は、加齢性の難聴と推定されています。難聴になると、社会的に孤立しやすく、人との会話や人と会う機会が減ってしまう場合が少なくな、鬱や認知症の原因となると言われています。ですから、難聴になったら、なるべく早い補聴器の使用が大切です。



しかし、補聴器は片耳でも10~30万円ほどで、年金暮らしの高齢者には手が届きません。加齢性難聴者への補聴器購入補助制度を求める取り組みが全国で広がり、すでに120以上の自治体を実施しています。国の制度として実施を求める意見書を採択した地方議会は265にのぼっています。野洲市でも補聴器購入の助成制度の実施が切実に求められています。



世界の主な国の補聴器使用率は高くなっています。これは、イギリス、ドイツ、フランスなどでは、国の制度で補聴器購入に対して公的補助制度を

行っているからです。この面からみても日本は遅れています。国制度で実施すべきものですが、同時に野洲市でも、ぜひとも補助制度を創設すべきです。



## マイナンバーカード法案/自公・維新・国民が強行 命に関わる保険証廃止やめよ

健康保険証を廃止して、マイナカードに置き換えるマイナンバー法が自公・維新・国民民主の4党が強行採決しました。現在の保険証を廃止して、マイナカードに一体化させるものです。マイナカードを持たない人は、保険加入している「資格確認書」の申請が必要となります。本人が申請しなければならないのは、国民皆保険制度の放棄です。これでは無保険者をつくり出しかねません。

さらにマイナンバーカード保険証情報の誤登録は、他人の情報の紐(ひも)づけは医療事故を招きかねない重大問題です。命に関わる保険証の廃止はやめるべきです。

### 世論調査は反対多数(ANN調査 6月10~11日)



やす民報

日本共産党野洲市委員会  
2023年6月18日 No.488

市政・市議会へのご意見  
ご要望をお寄せください

小菅康子 比江668-3 (電話・FAX) 589-4971  
工藤義明 小篠原879 (電話・FAX) 588-1856  
野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX) 587-0985  
東郷正明 比江864 (電話・FAX) 589-4158

日本共産党が見解を発表しましたのでお知らせします。

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索